

令和7年度 都市計画部の各課・室に対するご意見及び回答の要旨

NO.	担当課	意見の要旨	回答の要旨
1	都市計画課	中距離電車停車について、賛成であるが時間が掛かりすぎるため、早期実現を求める	事業に要する工期については、JR東日本による過年度調査に基づき示しており、今後の設計段階において、変動することが想定される状況にあることから、JR東日本と十分に協議・調整を図って参る。
2	都市計画課	中距離電車停車はしばらく先の話であり、今の問題としての川口駅混雑緩和の対策を早急に実施するべきである	京浜東北線の遅延・運休時の代替輸送手段の一つとして、埼玉高速鉄道線を活用するために、川口駅と川口元郷駅間(六間通り線)の移動円滑化を図ることも重要であると考えておりますことから、六間通り線の機能・魅力の向上に資する取り組みも中距離電車の停車に係る検討と並行し、進めて参るとともに、埼玉高速鉄道の運賃値下げについては埼玉高速鉄道株式会社に伝えて参りたい。
3	都市計画課	西川口駅東口前のモニターにベトナム国旗が大きく表示されており、気持ち悪さを感じる。 何とかしてほしい。	ご指摘のモニターは屋外広告物に該当すると考えられる。屋外広告物については川口市屋外広告物条例により表示面積や設置位置等の規制を行っているが、広告物の表現内容については規制の対象となっていない。ご指摘のモニターについて、川口市屋外広告物条例に基づき、広告物の大きさや高さについて調査し、必要に応じ適切に対応してまいるが、広告物の表現内容については、対応できかねるため、ご理解いただきたい。

4	都市計画課	西川口駅東口前の電光掲示板にベトナム国の軍国主義を思わせる映像が流れており、生活に不安を覚えた。即撤去してほしい。	ご指摘の電光掲示板は屋外広告物に該当すると考えられる。屋外広告物については川口市屋外広告物条例により表示面積や設置位置等の規制を行っているが、広告物の表現内容については規制の対象となっていない。ご指摘の電光掲示板について、川口市屋外広告物条例に基づき、広告物の大きさや高さについて調査し、必要に応じ適切に対応してまいるが、広告物の表現内容については、対応できかねるため、ご理解いただきたい。
5	都市計画課	「川口駅への中距離電車(上野東京ライン)停車計画」に関する総事業費の市民負担額を示したパブリックコメントの実施を求める	今後の設計段階における詳細な調査により、最新の工事費も踏まえたより精緻な事業費を算出していくとともに、その際の市民の皆様への情報のお知らせの仕方やご意見の収集方法については十分に配慮していく。
6	都市計画課	今まで進めてきた川口駅への中距離電車停車について、市長が変わったことによる今後の事業の方針について	今後も引き続き、JR東日本をはじめとする関係者と協議しつつ、本市の財政面での観点から総事業費の再確認を行うなど、川口駅への上野東京ラインの停車に向けた取組を慎重に進めていく。
7	都市計画課	川口駅への中距離電車だけではなく、ほかの路線の停車や埼玉高速鉄道の活用の可能性を検討してもよいのではないか	川口駅への中距離電車の停車は、通勤・通学時の混雑緩和による利用者の利便性向上のみならず、通勤・通学の円滑化による東京都への通勤者等のまちなか居住の推進や、来訪の円滑化による市内外から駅周辺に訪れる関係人口の拡大効果があると考えており、以上の観点から川口駅への中距離電車の停車による鉄道輸送力の増強は必要であり、今後も引き続き、JR東日本をはじめとする関係者と協議をしつつ、本市の財政面での観点から総事業費の再確認を行うなど、川口駅への上野東京ラインの停車に向けた取組を慎重に進めていく。
8	都市計画課	川口駅への中距離電車は川口駅を利用しない市民にとって恩恵がない一方で、多額の市税が投入されることについて、十分な説明と検討が必要と考える	川口駅への中距離電車の停車による鉄道輸送力の増強は必要であり、川口駅周辺以外の他地区においても、地域に応じた課題を抱えていることから、市民の皆様の利便増進に繋がるまちづくりを進める。市民の皆様からお預かりした税金については、限られた財源を効果的・効率的に活用し、安定した行政サービスが提供できるよう努める。

9	都市計画課	川口駅への中距離電車だけではなく、埼玉高速鉄道川口元郷駅の活用の可能性を検討してもよいのではないか	今後も引き続き、JR東日本をはじめとする関係者と協議しつつ、本市の財政面での観点から総事業費の再確認を行うなど、川口駅への上野東京ラインの停車に向けた取組を慎重に進めてまいる。 川口駅と川口元郷駅間の交通手段につきましては、すでに両駅間を結ぶ路線バスが1日約200本運行されており、十分な運行本数があるものと考えておりますが、本市が真に選ばれるまちとなるよう、川口駅への上野東京ラインの停車の検討と合わせて、両駅間の移動環境整備についても取り組んで参る。
10	都市計画課	川口駅への中距離電車には支出が巨額であるが今後の川口市の将来を見据えと必要な事業であるとする	川口駅への中距離電車の停車は、通勤・通学時の混雑緩和による利用者の利便性向上のみならず、通勤・通学の円滑化による東京都への通勤者等のまちなか居住の推進や、来訪の円滑化による市内外から駅周辺に訪れる関係人口の拡大効果があると考えており、以上の観点から川口駅への中距離電車の停車による鉄道輸送力の増強は必要であると考えている。 今後も引き続き、JR東日本をはじめとする関係者と協議しつつ、本市の財政面での観点から総事業費の再確認を行うなど、川口駅への上野東京ラインの停車に向けた取組を慎重に進めて参る。
11	都市計画課	上野東京ライン停車に加え、広域交通アクセスの向上、乗り換え負担の軽減、地域の発展への寄与、鉄道ネットワークの強化などのメリットがあると考えられる湘南新宿ラインの停車又は運行経路の検討を要望する	川口駅への中距離電車の停車は、通勤・通学時の混雑緩和による利用者の利便性向上のみならず、通勤・通学の円滑化による東京都への通勤者等のまちなか居住の推進や、来訪の円滑化による市内外から駅周辺に訪れる関係人口の拡大効果があると考えている。 上野東京ラインと湘南新宿ラインの両路線を比較すると、運行本数以外にも混雑率や遅延の生じにくさ等の観点においても上野東京ラインが相対的に優れていることから、本市としては上野東京ラインを停車対象として今後の検討を進めてまいる。

12	都市計画課	東川口駅周辺、特に「けやき通り」沿いの商業環境を、本来あるべき「滞在・回遊型」の最新型商業ストリートへと刷新し、駐車場不足や慢性的な混雑を抱える浦和美園エリアへ流出している膨大な地域消費を川口市内へ奪還することを提言します。	本市では現在、近年の社会経済状況の変化や将来的な人口減少・少子高齢化、持続可能な地域社会の形成に向けた対応が求められており、これからの時代に対応した新たな都市計画基本方針の見直しを進めている。そのなかで、東川口駅周辺などについても、いただいたご意見も一案として、地域のポテンシャルを活かした魅力あるまちづくりの取組みを引き続き検討して参りたい。
13	都市交通対策課 (旧:都市交通対策室)	公共交通機関であるみんななかまバスの本数が減り、日曜・祝日は運行していない。乗務員の確保を進め、平日も、せめて1時間に1本は欲しい。	コミュニティバスの日曜・祝日の運行につきましては、過去の運行経路見直し時に、平日と比較して利用者が少なかったことから取り止めとなった経緯に加え、昨今の運転手不足の深刻化を踏まえると、日曜・祝日の運行は、現時点では困難であると考えております。一方で、本市では、コミュニティバス全体の運行経路の見直しに着手しており、この中で利用者の利便性向上に向けた方策について、検討して参ります。
14	都市交通対策課 (旧:都市交通対策室)	みんななかまバス川口・鳩ヶ谷線の五右衛門橋バス停(川口駅方向)でバスを待っている人が勝手にマンション敷地内に入ってくるため、大変迷惑である。日陰を求めて、勝手に敷地内に入るだけでなく、駐輪場内にも入ってきて立ち小便をする様な人までおり、退くように注意すると逆上するされるため、大変に困っている。 バス停の設置場所を変更するか廃止をお願いしたい。	本市では、みんななかまバスの路線見直しに着手しており、五右衛門橋バス停につきましては、令和8年秋頃までに廃止する方向で検討しているところでございます。 また、廃止までの間、お時間を頂戴することから、敷地内への立ち入りを禁ずる旨の掲示物をバス停に掲出する等、運行委託先のバス事業者とともに今後の対応を検討して参ります。
15	都市交通対策課 (旧:都市交通対策室)	スポーツセンターへシェアサイクルを設置していただきたい。	西スポーツセンターにつきましては、前回御回答申し上げましたとおり、年間を通じた施設利用状況や敷地内の運用状況等を踏まえ、設置は難しいと判断しているところでございます。 一方で、スポーツセンターをはじめとする市有施設につきましては、条件が整った施設から順次、設置・増設に向けた検討および働きかけを行ってまいりたいと考えております。

16	都市交通対策課 (旧:都市交通対策室)	川口駅と川口元郷駅の間に何らかの直通交通手段を検討してほしい。	川口駅と川口元郷駅間の交通手段につきましては、すでに両駅間を結ぶ路線バスが1日約200本運行されており、十分な運行本数があるものと考えておりますが、本市が真に選ばれるまちとなるよう、両駅間の移動環境整備についても取り組んで参ります。
17	都市交通対策課 (旧:都市交通対策室)	埼玉高速鉄道の全列車8両編成化を早期に実現し混雑緩和を図るよう、埼玉高速鉄道及び直通先の各社へ働きかけていただきたい。	埼玉高速鉄道線の全列車8両編成化につきましては、本市から埼玉高速鉄道株式会社に要望しているところですが、引き続き、全列車8両編成化の要望をするとともに、頂戴したご意見につきましては、個人情報伏したうえで同社に申し伝えさせていただきます。
18	都市交通対策課 (旧:都市交通対策室)	川口駅の混雑問題を「点(ホーム増設)」ではなく「面(市内交通の再編)」で捉えるため、川口駅と川口元郷駅の「一体的運用」による近距離分散とJR3駅(川口・西川口・蕨)への「広域分散」の2点を提案したい。	ご提案いただきました内容につきましては、今後の公共交通施策の推進にあたって、参考とさせていただきます。